

東京都新宿区高田馬場4丁目1番9号  
公益財団法人 国際文化カレッジ  
理事長 品川 恵保

平成27年度事業報告

# 1 平成 27 年度事業報告

## I 公 1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

### [1] 各事業（公 1-1～公 1-4）の連携

当年度は、公 1 の事業全体の連携を図るために、総合写真展（公 1-3）の親睦パーティー会場や軽井沢ギャラリー館（公 1-4）に、公 1-1 としての通信教育講座の受講案内書を設置して、その普及を試みた。また、フォトマスター検定（公 1-2）においては、結果通知の際に写真関連の通信教育講座（公 1-1）や総合写真展（公 1-3）の周知を行い、知識の習得の機会や、作品発表の機会を与えるなどにより、各事業（公 1-1～公 1-4）の連携、連動を図った。

### [2] 公 1-1：通信教育およびこれに関連するアセスメントテスト

定款第 4 条（事業）第 1 項第（1）号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第（2）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、通信教育講座およびアセスメントテスト（HOSMAT：ホスピタリティ・マインド診断）の事業を以下の通り行った。なお、通信教育講座の普及活動における平成 27 年度の受講生（入学者）総数は、募集予定人数 1,220 人に対して結果は 1,060 人、アセスメントテスト（HOSMAT：ホスピタリティ・マインド診断）は、海外からの Web システム干渉などが発覚し、トラブルを避けるためサーバーを引き上げたため、業務を行うことができず、受診予定人数 63 人に対して結果は 0 人であった。

#### (イ) 通信教育講座について

##### 1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、募集予定人数 440 人に対して平成 27 年度の入学者数は 389 人で、計画した人数に達しなかった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

| 課程名           | 年度当初<br>受講者数 | 年度間の異動 |      |      | 年度末<br>受講者数 |
|---------------|--------------|--------|------|------|-------------|
|               |              | 入学者数   | 中退者数 | 修了者数 |             |
| (合計)          | 138          | 389    | 187  | 199  | 141         |
| 家庭園芸講座        | 26           | 46     | 21   | 16   | 35          |
| 自動車講座         | 15           | 144    | 63   | 81   | 15          |
| 総合盆栽講座        | 0            | 0      | 0    | 0    | 0           |
| 造園講座          | 0            | 0      | 0    | 0    | 0           |
| オートバイ講座       | 12           | 23     | 9    | 11   | 15          |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 2            | 4      | 1    | 3    | 2           |
| 庭木と果樹の手入れ講座   | 8            | 20     | 7    | 13   | 8           |
| 庭の工作物手作り講座    | 4            | 1      | 0    | 2    | 3           |
| 写真作品創作塾       | 25           | 55     | 35   | 26   | 19          |
| 植物医講座         | 24           | 49     | 24   | 23   | 26          |
| 庭師入門講座        | 8            | 26     | 10   | 11   | 13          |
| 美術品鑑賞鑑定入門     | 14           | 21     | 17   | 13   | 5           |

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、募集予定人数 780 人に対して平成 27 年度の入学者数は 676 人で、計画した人数に達しなかった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった（各講座、ホスピタリティ・マインド診断付を含む合計）。

| 課程名                   | 年度当初 | 年度間の異動 |      |      | 年度末  |
|-----------------------|------|--------|------|------|------|
|                       | 受講者数 | 入学者数   | 中退者数 | 修了者数 | 受講者数 |
| 合計                    | 296  | 676    | 294  | 339  | 339  |
| レタリング講座               | 0    | 0      | 0    | 0    | 0    |
| A. 実践ボールペン字           | 19   | 38     | 22   | 22   | 13   |
| B. ホスピタリティマインド        | 6    | 27     | 11   | 17   | 5    |
| C. トラブル対応力でチャンスに変える   | 14   | 24     | 11   | 19   | 8    |
| D. コーチングで人を動かす        | 6    | 39     | 10   | 14   | 21   |
| E. 説得力・交渉力を行使する       | 16   | 12     | 9    | 8    | 11   |
| F. コミュニケーションで自信と信頼を得る | 20   | 72     | 27   | 22   | 43   |
| G. アサーション表現力で魅了する     | 35   | 89     | 40   | 50   | 34   |
| I. 問題解決能力で現状を打破する     | 7    | 37     | 15   | 22   | 7    |
| J. リーダーシップを発揮する       | 31   | 41     | 23   | 20   | 29   |
| K. 論理的思考で実現させる        | 10   | 15     | 7    | 9    | 9    |
| L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 29   | 26     | 17   | 12   | 26   |
| M. プレゼンテーションで成功する     | 8    | 7      | 4    | 1    | 10   |
| N. 心理学でビジネスの成果を生む     | 20   | 71     | 29   | 39   | 23   |
| O. 図解思考がクリアにする        | 15   | 34     | 16   | 12   | 21   |
| P. 情報を成果に育てる          | 3    | 0      | 1    | 0    | 2    |
| Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学 | 4    | 0      | 0    | 1    | 3    |
| R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法 | 17   | 106    | 36   | 52   | 35   |
| S. 誰でもできる時間の超活用法      | 4    | 6      | 2    | 2    | 6    |
| T. 誰もが納得、数字の力         | 7    | 8      | 3    | 6    | 6    |
| U. 実効性のあるキャリアデザイン     | 4    | 3      | 2    | 1    | 4    |
| V. 新・人間関係のビタミン        | 8    | 1      | 1    | 1    | 7    |
| W. 強いビジネス組織をつくる       | 2    | 4      | 2    | 1    | 3    |
| X. コンサル型ビジネスの達人になる    | 3    | 5      | 1    | 2    | 5    |
| Y. ビジネスで恥をかかない国語学     | 8    | 11     | 5    | 6    | 8    |

## 2. 普及活動について

新聞や雑誌の部数減少等に伴う近年のこれら媒体による受講生募集効率の大幅な低下を受けて、文部科学省認定講座の自動車講座や写真作品創作塾、美術品鑑賞・鑑定入門講座などについては、インターネットのリスティング広告も導入して普及活動を引続き行った。この方法によると経費対効果は向上するものの、まだまだ受講生を大幅に増加させる段階にまでは至っていない。しかしながら、時代の趨勢としてこの手段により普及活動を展開する方向性は変わらないので、さらに効果が出るよう引き続き研究を重ねて行くものとする。園芸、植物関連講座では、肥料・農薬・種苗メーカーを始めとする園芸・農業関連会社やホームセンターなどの職域における受講需要につき、今後もこの分野への普及活動の可能性を追求して行くものとする。

自動車講座や家庭園芸講座では、矯正施設における社会復帰等に向けた教育を目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。

写真作品創作塾とハイキングとカメラ技法講座については、受験者が安定的に推移しているフォトマスター検定事業（公1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動や、総合写真展（公1-3）の参観者に対する普及活動も行った。

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、これらを採用する企業や地方公共団体などが着実に増加してきた環境を受けて、平成27年度の実受講生数も比較的安定しており、文部科学省認定講座群と合わせて幅広い領域における生涯学習、社会教育を推進することができた。次年度も継続してさらなる普及活動を行っていく。

### 3. テキスト内容の見直し・改訂等

- ① 「総合盆栽講座」、「造園講座」は、普及活動を休止（休講）してきたが、平成 27 年度に教材テキストの見直しが終了するとともに、教材製版フィルムへのデジタル化も終了した。平成 28 年度は、普及活動を再開する予定である。（主たる費用は製版デジタル化の費用であった。）
- ② ビジネス系講座・13 講座の教材製版デジタル化と同時に、テキスト内容の小改訂を実施した。（主たる費用は教材製版デジタル化の費用であった。）
- ③ 「写真創作塾講座」の副教材としてセットに加える予定で、「フォト検・過去問題集」の改訂作業を進行した。  
改訂費用として、上記③の費用・4,333,883 円は、「通信教育教材大規模改訂積立資金」より取崩し、費消する。

### 4. 教材テキスト製版デジタル化の実施

平成 26 年度に引き続き、長年の修正で陳腐化した製版フィルムをデジタル化（データ化）する「教材製版デジタル化費用積立資金」（平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 か年計画）の実施についてですが、平成 27 年度は以下の通り、実施した。

- ① ビジネス系講座・13 講座の費用。
- ② 「造園講座」の本テキスト、法令篇等副教材一式の費用。
- ③ 「総合盆栽講座」の 2 回目データ化（1 回目は平成 26 年度に実施済）、訂正代の費用。  
以上 3 点の費用は、合計・8,180,226 円であり、内、平成 27 年度は「通信教育教材製版デジタル化積立資金」より 4,515,291 円を取崩し、費消する。（ただし、残額・3,664,935 円は平成 28 年度に取崩す予定。）

### 5. 学習指導

学習指導における学習指導者（専門家）および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問（質疑応答）に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

| 講座名    | 学習指導者  | 教務責任者        |
|--------|--|--------------|
| 家庭園芸講座 | 計 3 名<br>山形大学農学部卒：1 名／<br>日本大学生物資源科学部卒・<br>2 級造園施工管理技士：1 名／<br>東京農業大学農学部卒：1 名      | 事務局職員<br>1 名 |
| 自動車講座  | 計 3 名<br>元読売江東理工専門学校講師：1 名／<br>読売自動車大学校専任教員：1 名／<br>中央大学理工学部卒：1 名                  | 事務局職員<br>1 名 |
| 総合盆栽講座 | 計 2 名<br>山形大学農学部卒：1 名／<br>（株）花門フラワーゲート技術者・<br>2 級造園施工管理技士：1 名                      | 事務局職員<br>1 名 |
| 造園講座   | 計 3 名<br>造園設計事務所主宰者：1 名／<br>（株）花門フラワーゲート技術者・<br>2 級造園施工管理技士：1 名／<br>東京農業大学農学部卒：1 名 | 事務局職員<br>1 名 |

| 講座名               | 学習指導者   | 教務責任者       |
|-------------------|---|-------------|
| オートバイ講座           | 計3名<br>読売自動車大学校専任教員：1名／<br>三井住友海上火災保険㈱アジャスター・<br>元読売江東理工専門学校講師：1名／<br>バイクジャーナリスト：1名 | 事務局職員<br>1名 |
| ハイキングとカメラ<br>技法講座 | 計3名<br>写真家：1名／<br>元国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名／<br>国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名                    | 事務局職員<br>1名 |
| 庭木と果樹の手入れ<br>講座   | 計4名<br>造園設計事務所主宰者：1名／<br>2級造園施工管理技士：1名／<br>山形大学農学部卒：1名／<br>東京農業大学農学部卒：1名            | 事務局職員<br>1名 |
| 庭の工作物手作り<br>講座    | 計3名<br>造園設計事務所主宰者：1名／<br>2級造園施工管理技士：1名／<br>東京農業大学農学部卒：1名                            | 事務局職員<br>1名 |
| 植物医講座             | 計3名<br>東京農業大学農学部卒：2名／<br>千葉大学環境健康フィールド<br>科学センター・農学博士：1名                            | 事務局職員<br>1名 |
| 写真作品創作塾           | 計4名<br>写真家：4名   | 事務局職員<br>1名 |
| 庭師入門講座            | 計3名<br>1級造園施工管理技士：1名／<br>日本大学生物資源科学部卒・<br>2級造園施工管理技士：1名／<br>東京農業大学農学部卒：1名           | 事務局職員<br>1名 |
| 美術品鑑賞・鑑定<br>入門講座  | 計4名<br>武蔵野美術大学卒：1名／<br>美術評論・鑑定家：1名／<br>絵画保存修復工房代表：1名／<br>陶磁資料館館長補佐：1名               | 事務局職員<br>1名 |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

| 講座名             | 学習指導者   | 教務責任者       |
|-----------------|---|-------------|
| レタリング講座         | 計2名<br>武蔵野美術大学卒：1名／<br>レタリング技能検定試験委員：1名   | 事務局職員<br>1名 |
| 実践ボールペン字講座      | 計2名<br>大東文化大学日本文学科卒・硬<br>筆・毛筆書家：1名／法政大<br>学文学部書道科履修・硬筆・<br>毛筆書家：1名                  | 事務局職員<br>1名 |
| ホスピタリティで業績アップ講座 | 計2名<br>早稲田大学大学院商学研究<br>科博士課程修了・ホスピタ<br>リティバンク研究所代表：1<br>名／ホスピタリティバンク<br>研究所主任研究員：1名 | 事務局職員<br>1名 |

| 講座名  | 学習指導者   | 教務責任者       |
|--|---|-------------|
| トラブル対応力でチャンスに変える<br>／コーチングで人を動かす／説得力・交渉力を行使する／コミュニケーションで自信と信頼を得る／アサーション表現力で魅了する／問題解決能力で表現を打破する／リーダーシップを発揮する／論理的思考で実現させる／発想力・創造力でビジョンを練り上げる／プレゼンテーションで成功する／心理学でビジネスの成果を生む／図解思考がクリアにする／情報を成果に育てる／思わず誰かに話したくなるビジネス雑学／眠っている9割を刺激する脳の活性化法／誰でもできる時間の超活用法／誰もが納得、数字の力／実効性のあるキャリアデザイン／新・人間関係のビタミン／強いビジネス組織をつくる／コンサル型ビジネスの達人になる／ビジネスで恥をかかない国語学 | 計2名<br>慶應義塾大学商学部卒・編集企画制作事務所エムスリー代表:1名／慶應義塾大学文学部社会学科卒・エム・エフ・ジー(株)顧問:1名 | 事務局職員<br>2名 |

添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で4,940件、質疑応答は全講座の合計で648件であった(細目は下表)。

なお、企業・団体における受講に対しては、人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告するサービスも例年同様に実施した。

スクーリング(面接指導)については、テキストや添削指導だけでは教授しにくい学習内容を中心として実施した。

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

| 課程名           | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 | 受けた者の平均回数 |
|---------------|-------|--------|----------|-----------|
| (合計)          | 3,703 | 26.3   | 297.0    | 12.5      |
| 家庭園芸講座        | 403   | 11.5   | 31.0     | 13.0      |
| 自動車講座         | 1,913 | 127.5  | 113.0    | 16.9      |
| 総合盆栽講座        | 0     | 0.0    | 0.0      | 0.0       |
| 造園講座          | 0     | 0.0    | 0.0      | 0.0       |
| オートバイ講座       | 102   | 6.8    | 17.0     | 6.0       |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 77    | 38.5   | 4.0      | 19.3      |
| 庭木と果樹の手入れ講座   | 132   | 16.5   | 17.0     | 7.8       |
| 庭の工作物手作り講座    | 12    | 4.0    | 2.0      | 6.0       |
| 写真作品創作塾       | 527   | 27.7   | 41.0     | 12.9      |
| 植物医講座         | 288   | 11.1   | 36.0     | 8.0       |
| 庭師入門講座        | 130   | 10.0   | 19.0     | 6.8       |
| 美術品鑑賞鑑定入門     | 119   | 23.8   | 17.0     | 7.0       |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

| 課程名                  | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 | 受けた者の平均回数 |
|----------------------|-------|--------|----------|-----------|
| (合計)                 | 1,237 | 3.6    | 512      | 2.4       |
| レタリング講座              | 0     | 0.0    | 0        | 0.0       |
| A 実践ボールペン字           | 150   | 11.5   | 30       | 5.0       |
| B.ホスピタリティマインド        | 66    | 13.2   | 22       | 3.0       |
| C.トラブル対応力でチャンスに変える   | 43    | 5.4    | 22       | 2.0       |
| D.コーチングで人を動かす        | 53    | 2.5    | 27       | 2.0       |
| E.説得力・交渉力を行使する       | 20    | 1.8    | 10       | 2.0       |
| F.コミュニケーションで自信と信頼を得る | 94    | 2.2    | 47       | 2.0       |
| G.アサーション表現力で魅了する     | 139   | 4.1    | 70       | 2.0       |
| I.問題解決能力で現状を打破する     | 59    | 8.4    | 30       | 2.0       |
| J.リーダーシップを発揮する       | 61    | 2.1    | 31       | 2.0       |
| K.論理的思考で表現させる        | 24    | 2.7    | 12       | 2.0       |
| L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 38    | 1.5    | 19       | 2.0       |
| M.プレゼンテーションで成功する     | 8     | 0.8    | 4        | 2.0       |
| N.心理学でビジネスの成果を生む     | 110   | 4.8    | 55       | 2.0       |
| Q.図解思考がクリアにする        | 46    | 2.2    | 23       | 2.0       |
| P.情報を成果に育てる          | 0     | 0.0    | 0        | 0.0       |
| Q.思わず難かに話したくなるビジネス雑学 | 2     | 0.7    | 1        | 2.0       |
| R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法 | 237   | 6.8    | 79       | 3.0       |
| S.誰でもできる時間の超活用法      | 12    | 2.0    | 4        | 3.0       |
| T.誰もが納得、数字の力         | 21    | 3.5    | 7        | 3.0       |
| U.実効性のあるキャリアデザイン     | 6     | 1.5    | 2        | 3.0       |
| V.新・人間関係のビタミン        | 3     | 0.4    | 1        | 3.0       |
| W.強いビジネス組織をつくる       | 8     | 2.7    | 3        | 2.7       |
| X.コンサル型ビジネスの達人になる    | 11    | 2.2    | 4        | 2.8       |
| Y.ビジネスで恥をかかない国語学     | 26    | 3.3    | 9        | 2.9       |

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

| 課程名           | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 |
|---------------|-------|--------|----------|
| (合計)          | 460   | 3.3    | 59       |
| 家庭園芸講座        | 44    | 1.3    | 6        |
| 自動車講座         | 172   | 11.5   | 22       |
| 総合盆栽講座        | 0     | 0.0    | 0        |
| 造園講座          | 0     | 0.0    | 0        |
| オートバイ講座       | 24    | 1.6    | 3        |
| ハイキングとカメラ技法講座 | 4     | 2.0    | 1        |
| 庭木と果樹の手入れ講座   | 24    | 3.0    | 3        |
| 庭の工作物手作り講座    | 4     | 1.3    | 0        |
| 写真作品創作塾       | 72    | 3.8    | 9        |
| 植物医講座         | 56    | 2.2    | 7        |
| 庭師入門講座        | 24    | 1.8    | 3        |
| 美術品鑑賞鑑定入門     | 36    | 7.2    | 5        |

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

| 課程名                   | 実施延回数 | 一人平均回数 | 受けた者の実人数 |
|-----------------------|-------|--------|----------|
| (合計)                  | 188   | 0.6    | 94       |
| レタリング講座               | 0     | 0.0    | 0        |
| A. 実践ボールペン字           | 14    | 1.1    | 7        |
| B. ホスピタリティ・マインド       | 8     | 1.6    | 4        |
| C. トラブル対応力でチャンスに変える   | 10    | 1.3    | 5        |
| D. コーチングで人を動かす        | 8     | 0.4    | 4        |
| E. 説得力・交渉力を行使する       | 6     | 0.5    | 3        |
| F. コミュニケーションで自信と信頼を得る | 14    | 0.3    | 7        |
| G. アサーション表現力で魅了する     | 28    | 0.8    | 14       |
| I. 問題解決能力で現状を打破する     | 12    | 1.7    | 6        |
| J. リーダーシップを発揮する       | 12    | 0.4    | 6        |
| K. 論理的思考で実現させる        | 4     | 0.4    | 2        |
| L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる | 8     | 0.3    | 4        |
| M. プレゼンテーションで成功する     | 2     | 0.2    | 1        |
| N. 心理学でビジネスの成果を生む     | 20    | 0.9    | 10       |
| O. 図解思考がクリアにする        | 8     | 0.4    | 4        |
| P. 情報を成果に育てる          | 0     | 0.0    | 0        |
| Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学 | 0     | 0.0    | 0        |
| R. 眠っている9割を刺激する脳の活用法  | 26    | 0.7    | 13       |
| S. 誰でもできる時間の超活用法      | 2     | 0.3    | 1        |
| T. 誰もが納得、数字の力         | 2     | 0.3    | 1        |
| U. 実効性のあるキャリアデザイン     | 0     | 0.0    | 0        |
| V. 新・人間関係のビタミン        | 0     | 0.0    | 0        |
| W. 強いビジネス組織をつくる       | 0     | 0.0    | 0        |
| X. コンサル型ビジネスの達人になる    | 0     | 0.0    | 0        |
| Y. ビジネスで恥をかかない国語学     | 4     | 0.5    | 2        |

[スクーリング（面接指導）の実施状況]

| 課程名         | 実施回数 | 延日数 | 延参加数 |
|-------------|------|-----|------|
| (合計)        | 4    | 4   | 51   |
| 家庭園芸講座      | 1    | 1   | 4    |
| 総合盆栽講座      | 1    | 1   | 15   |
| 写真関連講座      | 1    | 1   | 27   |
| 庭木と果樹の手入れ講座 | 1    | 1   | 5    |

(ロ) アセスメントテスト (HOSMAT: ホスピタリティ・マインド診断) の単独受診

1. 受診者数およびホスピタリティ社会構築に向けた活動

精神性・倫理性・社会性などの詳細な分析と診断結果の提示を通じて、個々人はもとより、組織としてもこれらの強み、弱みを認識し改善、改革して行く道標として、また、個人情報や消費者保護、偽装問題をはじめとして、社会の一員としてはもとより、各組織においても極めて高いホスピタリティ・マインドが求められる時代にあって、EQ (情動指数)、SQ (精神指数)、MQ (倫理指数) の高い個人の養成や、組織における人材の適正配置、適正採用等につなげることができる本アセスメントテストであるが、Web 診断システムへの国外からの不正アクセスが検知されたため、堅固なセキュリティ等、運営について検討するため、当面の単独受診については実施せず、Web システムをサーバーから引き揚げ、システムの保全を図った。

2. 専門家の関与

本アセスメントテストに関わる専門家は、前年度と同様、「ホスピタリティで業績アップ講座(旧名称: 超CS! ホスピタリティ・マインド講座)」の学習指導者であるホスピタリティバンク研究所の専門家2名に就任いただいたが、解析等の実務はなかった。

[4]公1-2：通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条（事業）第1項第（4）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座（写真作品創作塾、ハイキングとカメラ技法講座）に関連する、第13回フォトマスター/写真とカメラの実用知識検定（略称：フォトマスター検定）を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

（イ）試験実施日

平成27年11月15日・日曜日（通常日程試験）  
 及び11月16日・月曜日（特別日程試験）  
 及び11月17日・火曜日（特別日程試験）

（ロ）試験会場

下記、各都道府県の一般会場及び団体受験会場（準会場）の、全国156箇所において実施した。

|               |               |               |                |                |
|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|
| No. 会場略称 試験日  | No. 会場略称 試験日  | No. 会場略称 試験日  | No. 会場略称 試験日   | No. 会場略称 試験日   |
| 1 札幌市 11月15日  | 33 滋賀県 11月15日 | 65 東京A 11月15日 | 97 愛知9 11月18日  | 129 静岡A 11月17日 |
| 2 青森県 11月15日  | 34 京都府 11月15日 | 66 神奈9 11月15日 | 98 大阪6 11月18日  | 130 愛知4 11月17日 |
| 3 岩手県 11月15日  | 35 大阪府 11月15日 | 67 神奈A 11月15日 | 99 大阪7 11月18日  | 131 愛知5 11月17日 |
| 4 宮城県 11月15日  | 36 大阪2 11月15日 | 68 新潟A 11月15日 | 100 大阪8 11月18日 | 132 愛知6 11月17日 |
| 5 秋田県 11月15日  | 37 兵庫県 11月15日 | 69 長野9 11月15日 | 101 大阪9 11月18日 | 133 大阪3 11月17日 |
| 6 山形県 11月15日  | 38 奈良県 11月15日 | 70 長野A 11月15日 | 102 広島A 11月18日 | 134 大阪4 11月17日 |
| 7 福島県 11月15日  | 39 和歌山 11月15日 | 71 愛知A 11月15日 | 103 福岡7 11月18日 | 135 大阪5 11月17日 |
| 8 茨城県 11月15日  | 40 鳥取県 11月15日 | 72 大阪A 11月15日 | 104 福岡8 11月18日 | 136 広島9 11月17日 |
| 9 栃木県 11月15日  | 41 島根県 11月15日 | 73 福岡A 11月15日 | 106 福岡9 11月18日 | 137 香川A 11月17日 |
| 10 群馬県 11月15日 | 42 岡山県 11月15日 | 74 大分9 11月15日 | 108 宮崎A 11月18日 | 138 福岡4 11月17日 |
| 11 埼玉県 11月15日 | 43 広島県 11月15日 | 75 大分A 11月15日 | 107 団体B 11月18日 | 139 福岡5 11月17日 |
| 12 埼玉2 11月15日 | 44 広島2 11月15日 | 76 北団8 11月18日 | 109 団体C 11月18日 | 140 福岡6 11月17日 |
| 13 千葉県 11月15日 | 45 山口県 11月15日 | 77 北団9 11月18日 | 109 団体D 11月18日 | 141 佐賀A 11月17日 |
| 14 東京都 11月15日 | 46 徳島県 11月15日 | 78 宮城8 11月18日 | 110 団体3 11月18日 | 142 熊本A 11月17日 |
| 15 東京2 11月15日 | 47 香川県 11月15日 | 79 宮城9 11月18日 | 111 団体4 11月18日 | 143 大分8 11月17日 |
| 16 東京3 11月15日 | 48 愛媛県 11月15日 | 80 宮城A 11月18日 | 112 団体5 11月18日 | 144 団体J 11月17日 |
| 17 東京4 11月15日 | 49 高知県 11月15日 | 81 茨城A 11月18日 | 113 団体6 11月18日 | 145 団体K 11月17日 |
| 18 神奈川 11月15日 | 50 福岡県 11月15日 | 82 栃木A 11月18日 | 114 団体7 11月18日 | 146 団体L 11月17日 |
| 19 神奈2 11月15日 | 51 長崎県 11月15日 | 83 埼玉8 11月18日 | 115 団体8 11月18日 | 147 団体M 11月17日 |
| 20 神奈3 11月15日 | 52 熊本県 11月15日 | 84 埼玉9 11月18日 | 116 団体9 11月18日 | 148 鹿児9 11月17日 |
| 21 神奈4 11月15日 | 53 大分県 11月15日 | 85 埼玉A 11月18日 | 117 団体A 11月18日 | 149 鹿児A 11月17日 |
| 22 新潟県 11月15日 | 54 宮崎県 11月15日 | 86 千葉8 11月18日 | 118 北団5 11月17日 | 150 団体E 11月17日 |
| 23 富山県 11月15日 | 55 鹿児島 11月15日 | 87 千葉9 11月18日 | 119 北団6 11月17日 | 151 団体F 11月17日 |
| 24 石川県 11月15日 | 56 沖縄県 11月15日 | 88 神奈8 11月18日 | 120 北団7 11月17日 | 152 団体G 11月17日 |
| 25 福井県 11月15日 | 57 北団A 11月15日 | 89 新潟7 11月18日 | 121 宮城6 11月17日 | 153 団体H 11月17日 |
| 26 山梨県 11月15日 | 58 群馬A 11月15日 | 90 新潟8 11月18日 | 122 宮城7 11月17日 | 154 団体I 11月17日 |
| 27 長野県 11月15日 | 59 千葉A 11月15日 | 91 新潟9 11月18日 | 123 栃木9 11月17日 | 155 団体1 11月17日 |
| 28 岐阜県 11月15日 | 60 東京5 11月15日 | 92 富山A 11月18日 | 124 埼玉7 11月17日 | 156 団体2 11月17日 |
| 29 静岡県 11月15日 | 61 東京6 11月15日 | 93 石川A 11月18日 | 125 千葉7 11月17日 |                |
| 30 愛知県 11月15日 | 62 東京7 11月15日 | 94 長野8 11月18日 | 126 神奈6 11月17日 |                |
| 31 愛知2 11月15日 | 63 東京8 11月15日 | 95 愛知7 11月18日 | 127 神奈7 11月17日 |                |
| 32 三重県 11月15日 | 64 東京9 11月15日 | 96 愛知8 11月18日 | 128 山梨A 11月17日 |                |

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は6,540人、受験者数は5,961人、合格者数は4,156人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場（準会場）を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。

| 受験級     | 区 分       | 応募者数  | 受験者数  | 合格者数  |
|---------|-----------|-------|-------|-------|
| 3 級     | 個人受験・一般会場 | 572   | 509   | 483   |
|         | 団体・一般会場受験 | 155   | 143   | 120   |
|         | 団体・自主会場受験 | 544   | 515   | 454   |
| 2 級     | 個人受験・一般会場 | 865   | 767   | 677   |
|         | 団体・一般会場受験 | 439   | 404   | 286   |
|         | 団体・自主会場受験 | 1,246 | 1,184 | 933   |
| 準1級     | 個人受験・一般会場 | 656   | 563   | 347   |
|         | 団体・一般会場受験 | 182   | 167   | 85    |
|         | 団体・自主会場受験 | 519   | 490   | 228   |
| 1 級     | 個人受験・一般会場 | 738   | 640   | 316   |
|         | 団体・一般会場受験 | 183   | 167   | 72    |
|         | 団体・自主会場受験 | 441   | 412   | 155   |
| 小 計     |           | 6,540 | 5,961 | 4,156 |
| EX認定コース | (1ジャンル認定) | 30    | 30    | 37    |
|         | (総合認定)    | 32    | 32    | 10    |
|         | (追加総合認定)  | 6     | 6     | 6     |
| 小 計     |           | 68    | 68    | 53    |
| 合 計     |           | 6,608 | 6,029 | 4,209 |

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象として、カメラ関係専門誌での広報、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

| 階級  | 一般グループ                    | 業界関連グループ             |
|-----|---------------------------|----------------------|
| 1 級 | 写真専攻大学生 優秀レベル             | メーカー 営業責任者           |
|     | 写真専門学校生 優秀レベル             | 販売店 販売責任者            |
|     | メーカー等のスクール指導者             | プロラボ/総合ラボ 責任者        |
|     |                           | 写真館 撮影担当             |
|     |                           | アシスタントカメラマン          |
| 準1級 | 写真専攻大学生 並レベル              | メーカー 営業担当            |
|     | 写真専門学校生 並レベル              | 販売店 販売担当             |
|     | 高校写真部顧問                   | プロラボ/総合ラボ 従事者        |
|     | 写真愛好家 歴10年以上              | 技術・営業担当者             |
|     | 地域のサークルリーダー               |                      |
| 2 級 | 中学校写真顧問                   | メーカー 事務従事者           |
|     | 高校写真部員                    | ミニラボ オペレーター          |
|     | 写真愛好家 歴5～10年              | 写真館 窓口担当             |
|     | メーカー等のスクールメンバー            | 一般紙誌編集者              |
|     | 地域のサークルメンバー               | 各種企業広報担当者            |
|     | カメラ機械愛好家                  | デザイナーアシスタント          |
| 3 級 | カメラ雑誌愛読者                  | フリー記者・ライター           |
|     | 中学写真部員                    | マスコミ・ジャーナリスト志望者      |
|     | 趣味愛好家 歴5年未満<br>撮影機会の多い一般者 | DPE 窓口担当者<br>(取次店含む) |

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に正確に反映させた。また、試験問題について、(一社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとするに努めた。

|                 | 氏名等   |
|-----------------|---|
| プロ写真家・評論家関係     | 児島昭雄／徳光ゆかり／テラウチマサト／那和秀峻<br>板見浩史／赤松秀夫／枝常伊佐央／大久保晴功  |
| 写真・カメラメーカー技術者関係 | オリンパスイメージング(株)：1名／<br>キヤノンマーケティングジャパン(株)：1名／<br>(株)タムロン：1名／(株)シグマ：1名／<br>(株)ケンコー・トキナー：1名／<br>(株)ニコンイメージングジャパン：1名／<br>パナソニック(株)：1名／富士フイルムイメージングシステムズ(株)：1名／リコーイメージング(株)：1名／<br>(株)市川ソフトラボラトリー：1名 |

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

|          | 団体受験に対して                                | 個人受験に対して                         |
|----------|---|----------------------------------|
| 文部科学大臣賞  | 1団体                                     | 4名(各級1名)                         |
| 当法人による表彰 | 最優秀団体賞 1団体<br>優秀団体賞 24団体<br>人材育成貢献賞 3団体 | 最優秀個人賞 5名<br>優秀個人賞 41名<br>(各級合計) |

[5] 公1-3：写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第19回展では、審査により入選以上に該当した2,027点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

| 出品部門  |          | 展示作品数 |
|-------|----------|-------|
| 半切サイズ | フィルム写真部門 | 333   |
|       | デジタル写真部門 | 1,230 |
| 全紙サイズ | フィルム写真部門 | 163   |
|       | デジタル写真部門 | 557   |
| 合計    |          | 2,027 |

2. 公募活動

前年度同様、当法人の「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」といった写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、カメラ関係専門誌、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品

の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

| 氏名       | 経歴    |
|----------|-------|
| 川合 麻紀    | プロ写真家 |
| 徳光 ゆかり   | プロ写真家 |
| テラウチ マサト | プロ写真家 |
| 板見 浩史    | 写真評論家 |
| 丸林 正則    | プロ写真家 |

#### 4. 会期、会場、参観者数等

平成 27 年 12 月 5 日(土)から 12 月 11 日(金)の会期で、東京都美術館・1 階第 2~4 展示室・2 階第 4 展示室(東京都台東区上野公園 8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は 4,692 人であった。

#### 5. 表彰式

表彰式には全国より 352 名の出品者が参加し、平成 27 年 12 月 5 日(土)、午前 10 時より 11 時 45 分の時間帯で浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草 3-17-1)において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

#### 6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名を全国版写真専門誌に掲載して公表した。

### (ロ) 日美展「総合水墨画展」

#### 1. 展示点数等

年度・第 20 回展では、審査により入選以上に該当した 1,330 点の作品を展覧会会場(下記 5.)に展示して公開した。当事業の計画は、1,290 点の展示であったが、第 20 回という節目にあたり、前回比 2%強の増加となった。

| 出品部門  |  | 展示作品数 |
|-------|--|-------|
| 作家部門  | F30 号/F20 号/F15 号                            | 137   |
| 一般部門  | F30 号/F20 号/F15 号/F10 号<br>/F8 号/F6 号/半切 1/2 | 826   |
| 臨画部門  | F10 号/F8 号/F6 号/半切 1/2                       | 296   |
| 俳画部門  | F8 号/F6 号/色紙                                 | 61    |
| 無鑑査出品 | F50 号/F30 号/F20 号                            | 10    |
| 合 計   |  | 1,330 |

#### 2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座(美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座)を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品(類似の俳画作品を含む)を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内 DM、リーフレット配付などにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に提示した。

#### 3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧

会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は下記 32 名の委嘱審査員のうち、浦上 義昭／王 子江／岡原 大  
嶽／大竹 卓／久山 一枝／小林 東雲／沈 和年／千野 曜生／根岸 嘉一  
郎／藤崎 千雲／馬 駿／松本 深雪／丸山 東子の 13 名の専門家が当審査  
員として審査に当たった。

五十嵐 玉俊（水墨画家）／伊藤 昌（水墨画家）／打矢 恵（水墨画家）  
／畝村 石道（水墨画家）／浦上 義昭（水墨画家）／王 子江（水墨画家）  
／大竹 卓（水墨画家）／岡原 大嶽（水墨画家）／岡村 南紅（水墨画家）  
／川端 豊次（水墨画家）／金 醒石（水墨画家）／久山 一枝（水墨画家）  
／小林 東雲（水墨画家）／潮見 冲天（水墨画家）／篠原 貴之（水墨画  
家）／沈 和年（水墨画家）／杉谷 隆志（水墨画家）／高橋 英男（水墨  
画家）／千野 曜生（水墨画家）／千葉 玄象（水墨画家）／根岸 嘉一郎  
（水墨画家）／濱中 応彦（水墨画家）／藤崎 千雲（水墨画家）／馬 駿  
（水墨画家）／松井 陽水（水墨画家）／松本 深雪（水墨画家）／丸山 東  
子（水墨画家）／村山 華鳳（水墨画家）／山田 大作（水墨画家）／姚 小  
全（水墨画家）／吉見 公子（水墨画家）／王俊 宇瀟（水墨画家）

※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下  
により組織した。

河野 元昭（秋田県立近代美術館館長、尚美学園大学大学院教授、東京大  
学名誉教授）／島尾 新（東京大学文学部美学美術史学科卒、同大学院美  
術史学専門課程修士課程修了、学習院大学教授）／町田 泰宣（公益社団法人  
日本南画院会長）／品川 恵保（当法人理事長）

#### 4. 現代水墨作家作品特別展示（現代水墨作家展）

本特別展示は、流派・派閥を超えた質の高い水墨芸術を第 20 回総合水墨画展  
に併設して展覧することにより、総合水墨画展はもとより日美絵画展（下記  
ハ）の出品者や観覧者の芸術に関わる涵養に資すると同時に、総合水墨画展  
および日美絵画展と相まって、我が国の美術、芸術文化の振興、発展により  
寄与することを目指して開催した。当年度は、我が国の水墨画界の代表的作  
家 45 名（下表）を招聘し、開催に要する経費は、前年度同様に当法人が負担（表  
装および作品の搬入出経費は作家負担）した。

阿部 清子／五十嵐 玉俊／伊藤 昌／浦上 義昭／及川 聡子／大竹 卓／  
岡本 東子／越智 波留香／梶岡 俊幸／川端 豊次／金 醒石／久保木 桂  
子／久山 一枝／呉 一騏／越畑 喜代美／酒井 祐二／坂田 祐加里／篠原  
貴之／新恵 美佐子／沈 和年／杉谷 隆志／醍醐 イサム／高橋 英男／橋  
京身／団野 雅子／千野 曜生／千葉 玄象／中野 めぐみ／並木 功／西村  
蘭子／根岸 嘉一郎／蓮村 泰子／濱中 応彦／藤崎 千雲／古舘 興／馬  
駿／正木 康子／松本 深雪／三浦 ひろみ／村山 華鳳／谷中 美佳子／山  
田 大作／姚 小全／吉田 翔／王俊 宇瀟

#### 5. 会期、会場、参観者数等

平成 27 年 8 月 6 日から 8 月 15 日の会期で、国立新美術館（東京都港区六本  
木 7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料と  
して開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展  
示、公表し、開催期間中の参観者は 10,045 名であった。

#### 6. 表彰式

表彰式には全国より 278 名の出品者が参加し、平成 27 年 8 月 6 日、午前 10  
時より 11 時 30 分の時間帯で ANA インターコンチネンタル東京（東京都港区  
赤坂 1-12-33）において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き  
添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

7. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表・販売し、当年度は 825 部を発行した。

(ハ) 日美展「日美絵画展」

1. 展示点数等

当年度・第 16 回展では、審査により入選以上に該当した 1,692 点の作品を展覧会会場（下記 4.）に展示して公開した。

| 出品部門    |                  | 展示作品数 |
|---------|------------------|-------|
| 油絵部門    | F30 号/F20 号      | 257   |
|         | F15 号/F10 号      | 182   |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 162   |
| 水彩画部門   | F30 号/F20 号      | 98    |
|         | F15 号/F10 号      | 151   |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 225   |
| パステル画部門 | F30 号/F20 号      | 9     |
|         | F15 号/F10 号      | 15    |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 24    |
| 色鉛筆画部門  | F30 号/F20 号      | 18    |
|         | F15 号/F10 号      | 50    |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 149   |
| デッサン部門  | F30 号/F20 号      | 3     |
|         | F15 号/F10 号      | 14    |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 19    |
| 日本画部門   | F30 号/F20 号      | 36    |
|         | F15 号/F10 号      | 29    |
|         | F8 号/F6 号/F4 号   | 23    |
| ちぎり絵部門  | F10 号            | 17    |
|         | F8 号/大色紙         | 105   |
| 絵手紙部門   | ハガキ形式/<br>巻き手紙形式 | 106   |
| 合 計     |                  | 1,692 |

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座（美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座）を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、案内DMやリーフレット配付、協賛社を窓口とする広報活動等により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

|   |   |
|---|---|
| ※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、部門別の審査に当たった。  |   |
| 油絵部門  | 板倉 略（画家）／遊馬 賢一（画家）                        |
| 水彩画部門   | 西丸 式人（画家）／岸本 庄八郎（画家）                      |
| パステル画部門   | たのい 俊一（画家）／大枝 隆司郎（画家）                     |
| 色鉛筆画部門  | 大枝 隆司郎（画家）                                |
| デッサン部門  | 村松 昌三（画家）                                 |
| 日本画部門   | 山本 真也（画家）／井坂 洋一（画家）                       |
| ちぎり絵部門  | 早川 美子（ちぎり絵作家）／大森 恭子（ちぎり絵作家）／玉井 祐子（ちぎり絵作家） |
| 絵手紙部門   | 花城 祐子（絵手紙作家）／平賀 啓子（絵手紙作家）                 |
| ※上記の審査員による部門別の審査結果に基づいて、部門を横断しての上位優秀作品に授与する賞（全体賞）を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。     |   |
| 川口 紀美雄（画家）／千足 伸行（成城大学教授、画家）／<br>中野 淳（武蔵野美術大学名誉教授、画家）／<br>永井 龍之介（美術鑑定士他）／品川 恵保（当法人理事長） |   |

#### 4. 会期、会場、参観者数等

平成27年8月6日(木)から8月15日(土)の会期で、国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は10,059名であった。

#### 5. 表彰式

表彰式には全国より304名の出品者が参加し、平成27年8月7日(金)、午前10時より11時30分の時間帯でANAインターコンチネンタル東京（東京都港区赤坂1-12-33）において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

#### 6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は830部を発行した。

### 〔6〕公1-4：芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

#### （イ）軽井沢千住博美術館

##### 1. 展示作品等

一般の観覧者はもとより、当法人の「美術品鑑賞・鑑定入門講座」、「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」、「レタリング講座」といった美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する「日美絵画展」、「総合水墨画展」、「総合写真展」の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、当年度は、「星のふる夜に（絵本原画一式）」、「夜桜満開」、「ウオーターフォール」、「Dayfall/Nightfall」、「イグアス」、「フォーリングカラー」、「フラットウオーター」、「sky」、「光」、「クリフ」、「ザ・フォール」に加え、東京・赤坂サカスの壁画の原画「四季樹木図」、カタールの首都・ドーハ

で開業する日本食レストランのアートプロジェクト用として制作された「ゴールデン ウォーターフォール」など、千住博氏の初期作品から最新作までの掛け替えを含む延べ50数点を選抜して展示した。

## 2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、平成27年4月1日から平成28年3月31日（平成27年12月26日から平成28年2月29日の期間は冬期休館）の期間で、開館日数は271日、延べ入館者数は下表の通り48,513名であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が1,696名、中学生以下が1,585名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

| 入館者区分    |                      | 入館人数   |
|----------|----------------------|--------|
| 有料入館者    | 一般・個人                | 38,843 |
|          | 一般・団体（20名以上）         | 3,212  |
|          | 学生（高校～大学生）・個人        | 2,388  |
|          | 学生（高校～大学生）・団体（20名以上） | 516    |
|          | 前売り券使用入館者等           | 25     |
| 入館料免除対象者 | 中学生以下                | 1,585  |
|          | 障害者                  | 1,696  |
| その他      | 招待等                  | 248    |
| 合 計      |                      | 48,513 |

## 3. 学芸員等による入館者に対する作品解説活動

入館者（主に団体入館者）からの要請があった場合には、当館学芸員による展示作品の解説を、無料で実施し、入館者の美術作品に対する理解の深化に努めた。

### （ロ）軽井沢ギャラリー館

当年度は、4月1日から6月28日まで、公1-3（ハ）事業との連携として、「カルビ展～逆境少女『カルビのカルビエンナーレ』～」（長野県軽井沢高校美術部）を開催。7月1日から7月31日までは、公1-3（ハ）事業との連携として「Art 三人展・軽井沢の四季を描く」（個人作家合同展）を開催。8月2日から9月2日までは、千住博氏の公的スペースにおけるアートをパネルで紹介する「千住博のパブリックアート展」を開催。9月5日から9月25日までは、公1-3（イ）事業との連携として、「上田HPC特別展・美しき信州」（ハッセルブラッド・フォト・クラブ）を開催、10月1日から10月31日までは、公1-3（ハ）事業との連携として「アトリエぽっけ作品展」（社会福祉法人育護会・浅間学園）を開催。11月3日から12月25日までは、「千住博のパブリックアート展Ⅱ」と題して、8月の同名展とは別の千住博氏のアートをパネルで紹介した。なお、冬期休館後の3月2日から次年度4月13日までは、長野県軽井沢高校美術部の作品発表展『カルビ「ウサギとカメ」展』を開催した。このように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に広く寄与するべく事業を実施した。

| 開催期間                       | 催し内容                         |
|----------------------------|------------------------------|
| 平成27年4月1日～<br>平成27年6月28日   | カルビ展<br>～逆境少女「カルビのカルビエンナーレ」～ |
| 平成27年7月1日～<br>平成27年7月31日   | Art 三人展～軽井沢の四季を描く～           |
| 平成27年8月2日～<br>平成27年9月2日    | 千住博のパブリックアート展                |
| 平成27年9月5日～<br>平成27年9月29日   | 上田HPC 特別展「美しき信州」             |
| 平成27年10月1日～<br>平成27年10月31日 | 浅間学園 アトリエぽっけ作品展              |
| 平成27年11月3日～<br>平成27年12月25日 | 千住博のパブリックアート展Ⅱ               |
| 平成28年3月2日～<br>(平成28年4月13日) | カルビ「ウサギとカメ」展                 |

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

*Acer platanoides* 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科) や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールデン・クラウド' /カバノキ科) などの木本、*Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科) や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科) などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約 150 種類以上、総数約 6 万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し、観覧者の啓発、教化に努めた。

(ニ) 平成 27 年度の美術品購入について

美術品購入は、「美術品購入積立資金」計画に基づいて行われている。平成 27 年度は、総額・80,452,300 円を積立資金より取崩し費消した。費用の明細は以下の通りである。

- ① 千住博『Waterfall IV』(1994 年) の購入費・40,000,000 円、
- ② 千住博『光』(新作) 購入費・35,000,000 円、
- ③ 千住博画『金滝』作品特注制作費用・3,996,000 円、の 3 点と、
- ④ 絵画輸入諸経費・1,456,300 円。

## Ⅱ 収 1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

### [1]収 1-1：出版

定款第4条（事業）第1項第（3）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：2,400冊、デジタル技術検定関係が1,540冊、ラジオ音響技能検定関係で1,210冊、レタリング技能検定関係で5,010冊であった。フォトマスター検定関係は、過去問集は既刊だったので、あまり売り上げが伸びなかったが、新開発の「フォト検対応要点マスターBOOK」が企業向けに1,400部売れ、目標値に近づくことができた（目標の10%減）。

デジタル技術検定関係は、新刊書籍発行に伴う書籍種類の統合により、販売数としては21%減となった。なお、デジタル技術検定については、2級情報試験問題集・3級試験問題集を新規刊行した。これらにより、主力商品は従来の7種から4種へと整理された。ただし、旧書籍についても、希望に応じて販売を継続した。ラジオ・音響技能検定関係は当年度での休止の影響もあり、54%の減少となった。

レタリング技能検定関係は予定数の5.6%減の実績となった。

| 関連する当法人の通信教育講座等   | 出版物の内容・種類と販売部数   |
|---|--|
| 文部科学省認定<br>「写真作品創作塾」<br>（公1-1）<br>文部科学省認定<br>「ハイキングとカメラ技法講座」<br>（公1-1）<br>フォトマスター検定<br>（公1-2）   | 写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本<br><出版物の種類><br>①フォト検 過去問題の解答と解説1～4／②フォト検対応要点マスターBOOK（新刊）<br><販売部数><br>当年度の販売部数は、合計：2,146部<br>①フォト検 過去問題の解答と解説1～4：746部<br>②フォト検対応要点マスターBOOK：1,400部  |
| 文部科学省認定<br>「自動車講座」<br>（公1-1）<br>文部科学省認定<br>「オートバイ講座」<br>（公1-1）<br>文部科学省認定<br>「写真作品創作塾」<br>（公1-1）<br>文部科学省認定<br>「ハイキングとカメラ技法講座」<br>（公1-1）<br>フォトマスター検定<br>（公1-2） | 自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に関係する、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。<br><出版物の種類：デジタル技術検定関係><br>5級模擬問題解説集／4級模擬問題解説集／3級模擬問題解説集／2級模擬問題解説集／4級最新既出問題・解説集／3級最新既出問題・解説集／2級最新既出問題・解説集／4級試験問題集／3級試験問題集／2級制御部門試験問題集／2級情報部門試験問題集<br><出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係><br>4級最新既出問題集／4級受験読本／3級最新既出問題集／3級受験読本／2級最新既出問題集／2級技術教本<br><販売部数><br>当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計1,210部、ラジオ音響技能検定関係で計555部、合計1,765部であった。 |
| レタリング講座（公1-1）<br>レタリング技能検定（収1-5）  | レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。<br><出版物の種類><br>書体サンプル集／実戦レタリング／レタリング技能検定ガイド<br><販売部数><br>書体サンプル集：4,084部。実戦レタリング：385部。<br>レタリング技能検定ガイド：258部   |

[2]収 1-2 : 物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要の用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美絵画展および総合水墨画展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する各展の出品要項へのカタログ同封、あるいは入選以上該当者への授賞名通知(審査結果通知)にカタログを添付するなどして購入者を募った。当事業は社会情勢など購買層の購買力・購買意欲に大きく影響されるため、予想を的確に見込むことは非常に難しいが、魅力ある商品の展開を模索し続けることで、一人当たりの購買金額の向上を目指し、収益を改善させ収益性を高めることを目標とする。

|                   | 販売品目と販売点数等   |
|-------------------|--|
| 日美絵画展関連商品類(公1-3)  | <p>&lt;カタログでの販売品目&gt;<br/>                     油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/水彩用筆類/水彩絵具類/水彩用紙/色鉛筆/日本画用筆/麻紙ボード/パステル/パステル用フィキサチーフ/パステル用スケッチブック/汎用スケッチブック/ちぎり絵用和紙類/ちぎり絵用台紙/顔彩類/画用印/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約 65 品目</p> <p>&lt;同販売点数等&gt;<br/>                     当年度は、購入者が 1,302 人、販売商品の延べ販売数が 1,581 点であった。</p>   |
| 総合水墨画展関連商品類(公1-3) | <p>&lt;カタログでの販売品目&gt;<br/>                     毛筆類/墨/墨液/顔彩/用紙類/印泥付雅印/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約 160 品目</p> <p>&lt;同販売点数等&gt;<br/>                     当年度は、購入者が 901 人、販売商品の延べ販売数が 1,598 点であった。</p> <p>&lt;総合水墨画展会場に設置した売店コーナーでの販売&gt;<br/>                     上記に準じた水墨画関連の用具・用材類を中心に雑多取り揃えて総合水墨画展会場の一角に売店コーナーを設け、出品者や観覧者の便にも供する目的で販売した。本売店における収入は 756,060 円であった。</p> |
| 展示館施設関連商品類(公1-4)  | <p>&lt;販売品目&gt;<br/>                     ポストカード/レターセット/ミュージアムフォルムノート/オリジナル名刺入れ/作品アートタイトル/シンボルマークキーホルダー/オリジナル菓子類/美術館カタログレズネ/美術館 DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック等、約 400 品目</p> <p>&lt;販売点数等&gt;<br/>                     当年度は、販売商品の延べ販売点数は 45,813 点であった。</p>  |

[3]収 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品（入選以上該当作品）の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を以下の通りに運営した。なお、各展覧会における表装は、額装や軸装などの材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らしめた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを（総合写真展および総合水墨画展は裏打ち・マット付の状態）、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展（公 1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分  |     | 表装（規定サイズへの紙焼き除く）代行した作品点数 |
|---|-----|--------------------------|
| 半 切   | 買取  | 8 5 6                    |
|   | リース | 4 8 4                    |
| 全 紙   | 買取  | 5 4 8                    |
|   | リース | 1 3 9                    |
| 合 計   |     | 2, 0 2 7                 |
| 総合写真展の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した                       |     |                          |
| 開催日時：平成 27 年 12 月 5 日（土）12 時～14 時                   |     |                          |
| 場 所：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草 3-17-1）                      |     |                          |
| 参加人数：120 人  |     |                          |
| その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。 |     |                          |

(ロ) 日美展「総合水墨画展」（公 1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分  |     | 表装代行した作品点数 |
|---|-----|------------|
| F50 号   | 買取  | 3          |
|   | リース | 3          |
| F30 号   | 買取  | 1 8 3      |
|   | リース | 1 0 0      |
| F20 号   | 買取  | 1 8 7      |
|   | リース | 9 6        |
| F15 号   | 買取  | 1 1 2      |
|   | リース | 2 4        |
| F10 号   | 買取  | 1 5 1      |
|   | リース | 2 7        |
| F8 号  | 買取  | 1 8 0      |
| F6 号  | 買取  | 4 2        |
| 半切 1/2  | 買取  | 1 9 7      |
| 色紙  | 買取  | 2 5        |
| 合 計   |     | 1, 3 3 0   |
| 日美展「総合水墨画展」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した                 |     |            |
| 開催日時：平成 27 年 8 月 67 日（木）12 時～14 時                   |     |            |
| 場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京都港区六本木 1-12-33）          |     |            |
| 参加人数：174 人  |     |            |
| その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。 |     |            |

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公 1-3) に関わる表装代行、親睦パーティー

| 表装区分   |     | 表装代行した作品点数 |
|--|-----|------------|
| F30 号  | 買取  | 1 6 5      |
|  | リース | 5 4        |
| F20 号  | 買取  | 1 2 8      |
|  | リース | 7 4        |
| F15 号  | 買取  | 1 1 4      |
|  | リース | 3 9        |
| F10 号  | 買取  | 2 3 3      |
|  | リース | 7 2        |
| F8 号   | 買取  | 2 8 1      |
| F6 号   | 買取  | 2 4 8      |
| F4 号   | 買取  | 1 5 3      |
| 大色紙  | 買取  | 2 5        |
| ハガキ形式  | 買取  | 7 2        |
| 巻き手紙   | 買取  | 3 4        |
| 合 計  |     | 1, 6 9 2   |
| 日美展「日美絵画展」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した<br>開催日時：平成 27 年 8 月 7 日(金) 12 時～14 時<br>場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京(東京都港区六本木 1-12-33)<br>参加人数：194 人<br>その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。 |     |            |

[4] 収 1-4：貸室

定款第 4 条(事業)第 1 項第(5)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額 216,000 円(税込)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公 1-4)の建物の一部(床面積 162.13 m<sup>2</sup>)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5] 収 1-5：業務受託等

定款第 4 条(事業)第 1 項第(2)号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」(当法人の自動車、オートバイ、デジタルカメラ関連講座に関連)、および「ラジオ・音響技能検定」(当法人の自動車、オートバイ講座に関連)、レタリング技能検定(当法人の美術品鑑賞・鑑定入門講座、日美展に関連)の試験実施に関わる業務(受験に関わる案内書配布等、試験会場予約、検定委員会運営、試験日の諸対応等)を主催事業として実施した。なお、本事業は公益財団法人実務技能検定協会が主催し、当財団が業務受託していた事業を、平成 24 年度に事業譲渡で継承したため、本項目に分類している。また、ラジオ・音響技能検定については、産業における主要技術基盤が、アナログからデジタルへ変遷したことにより、教育機関を中心にデジタル技術に学習が移行しているため、受験者の減少に歯止めがかからず、当面の間、検定の実施を見合わせることにした。アナログ技術自体は、産業に未だに重要な役割を担っているため、Computer Based Testing(CBT)など、既存のペーパーテストに代わる試験方式が安価なシステムとして市場に提供されてくれば、復活も視野に入ってくる。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

平成 27 年 6 月 28 日・日曜日

平成 27 年 11 月 22 日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

6 月(本会場 16、準会場 24、計 40 会場)

11 月(本会場 16、準会場 23、計 39 会場)

### 3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は2,655人、受験者数は2,408人、合格者数は1,483人の結果であった。なお、受験料は本会場実施団体および延べ30名以上の準会場団体の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割り引いて実施した。なお、5級については受験者数が極端に少ない状態で推移していたため、本年度から実施を見合わせることにした。

| 受験級  | 応募者数  | 受験者数  | 合格者数  |
|------|-------|-------|-------|
| 1級情報 | 35    | 28    | 6     |
| 1級制御 | 54    | 45    | 12    |
| 2級情報 | 502   | 454   | 221   |
| 2級制御 | 859   | 754   | 373   |
| 3級   | 788   | 736   | 574   |
| 4級   | 417   | 391   | 297   |
| 5級   | -     | -     | -     |
| 合計   | 2,655 | 2,408 | 1,483 |

### 4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

### 5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や可否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／東京工業高等専門学校名誉教授：1名／  
東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

### 6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

|          | 団体受験に対して | 個人受験に対して     |
|----------|----------|--------------|
| 文部科学大臣賞  | 2団体      | 6名(各回各級1名)   |
| 当法人による表彰 | 4団体      | 118名(各回各級合計) |

### (ロ) ラジオ・音響技能検定

#### 1. 試験実施日

平成27年11月8日・日曜日

#### 2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

11月(本会場12、準会場13、計25会場)

#### 3. 受験者数、合格者数等

本検定は、エレクトロニクス・オーディオの知識・技能をアナログ技術という観点から総轄して評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は625人、受験者数は563人、合格者数は266人の結果であった。なお、受験料は本会場実施団体および延べ30名以上の準会場団体の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割り引いて実施した。

| 受験級 | 応募者数 | 受験者数 | 合格者数 |
|-----|------|------|------|
| 1級  | 14   | 12   | 4    |
| 2級  | 131  | 110  | 27   |
| 3級  | 222  | 198  | 77   |
| 4級  | 258  | 243  | 158  |
| 合計  | 625  | 563  | 266  |

#### 4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

#### 5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／元日本電気㈱技術者：1名／

元松下通信工業㈱技術者：1名／元NHK受信技術部長：1名

#### 6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、以下の通り表彰した。

|          | 団体受験に対して | 個人受験に対して  |
|----------|----------|-----------|
| 文部科学大臣賞  | 1団体      | 2名        |
| 当法人による表彰 | 1団体      | 34名(各級合計) |

#### (ハ) レタリング技能検定

##### 1. 試験実施日

平成26年6月1日・日曜日

##### 2. 試験会場

各都府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

(本会場20、準会場151、計171会場)

##### 3. 受験者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度は下表の通り、志願者数6,312人、受験者数6,167人、合格者数3,975人の結果であった。なお、受験料は、自主会場の団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

| 受験級 | 志願者数  | 受験者数  | 合格者数  |
|-----|-------|-------|-------|
| 1級  | 44    | 44    | 3     |
| 2級  | 642   | 637   | 170   |
| 3級  | 3,889 | 3,823 | 2,418 |
| 4級  | 1,737 | 1,663 | 1,384 |
| 合計  | 6,312 | 6,167 | 3,975 |

#### 4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受験者を募った。

5. 検定委員等

平成 26 年度の検定委員は、下記の専門家により構成し、委員会を開催して試験問題の作成や合否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：2名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／

孔版文字・孔版画家&文字デザイナー：1名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・

文字書体デザイナー：1名／

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

|          | 団体受験に対して | 個人受験に対して    |
|----------|----------|-------------|
| 文部科学大臣賞  | 2 団体     | 2 名         |
| 外部団体の表彰  |          |             |
| 当法人による表彰 | 14 団体    | 112 名(各級合計) |